



ヤマザクラ

2020 年(令和 2 年)10 月 26 日(月)発行

自然学校開設について

佐藤 烈

8 月発行の会報 34 号の第 16 回通常総会の報告の中で木田理事長が、令和 2 年度事業計画の事業実施方針を 4 点あげておられますが、その 4 点目にあげられているのが、「自然学校開設に向けた環境整備に取り組む」というものです。

その事業の目的や内容とスケジュール、その進捗状況について概要をご説明し、最後に自然学校の中で行われるものはどんなものであるべきなのかについて私見を述べさせていただきます。

まず、この事業の目的ですが、今の子ども達は学校では教室での環境教育を受け、一方で虫好きな子は自宅において図鑑や子供達の間でベストセラーとなっている「残念な生きものたち」シリーズなどを読み、私たちには到底かなわない多くの知識を持っています。

しかし、私たちが小学校に出かけて、接する子供達はあまり実際に野外で虫や花を見たり、触ったり、匂いをかいだりしていないようです。まして季節を通して生き物がどうなるかなどに思いをはせることなどないようにみえます。

野外で出会う虫の動きや、飛ぶ姿、命尽きてあお向けで死んでいくセミ、また花開き、虫を呼び、枯れていくアザミ等その名や生態などの知識だけでなく、生き物に対して共感する心を育てることが大切なのではないかとの思いから自然学校を開設することになりました。

この事業の計画は湯ノ岳山荘周辺に既存の観察コースに加え、新たなコースも整備し、またバーベキュー広場の一角にツリーハウスを新設するなどハード面の整備を行い、それに併せて自然学校で行うメニュー(プログラム)を作り、実践し、そのメニューを検証して、修正するというソフト面の整備をするものです。またそれに、今までの木本に加えてコースの草本についての調査を行い、1 年を通してどのような植物がみられるかのデータを収集します。

これらの事業内容は、3 年計画とし、今年度はハード面の整備と上記植生調査を進め、併せていくつかのメニューを作り、実践します。次年度は前年度に引き続き植生調査を行い、更にメニュー作りとその実践として月に 1~2 回程度自然学校を開催します。3 年目には本格的に自然学校をスタートさせる予定です。

現在新コースの整備、ツリーハウスの建設が進行中です。植生調査も季節ごとに行われています。メニュー作りと実践も一部始まっています。

このように動き出している自然学校開設事業ですが、そこで行われるべきメニューについて私見を述べさせていただくと、公園等にはたいてい解説板があります。さらには解説者がいて解説や説明をしてくれます。しかしここ湯ノ岳フィールドで公園と同じことをする必要がないのではないのでしょうか。たいていの公園では、葉をむしってはいけません。落ちているドングリを拾ってもいけません。しかし、ここ湯ノ岳フィールドは、昔の里山の位置付けですから、昔おこなわれていたように、落ち葉を集め、草を刈り、道を作り、伸びすぎた木を伐りそして山の恵みであるキノコや木の実を採取することができます。このようなフィールドは滅多にありません。つまりここでこれから行うべきことは、多くの公園などで行われる解説や案内ではなく、子供たちが虫や鳥の声を聞いたり、自ら採って、触って、匂いを嗅ぎ、又虫を追いかけて捕まえてみる、山の幸を食べてみる等、五感をフルに使った主体的な体験活動に重点を置いたものであるべきではないかと考えます。

【森林整備班の活動報告】

1 定例活動

今期は、異常気象のためか草の伸びが著しく草刈り中心の活動となりました。また、いわき市にもナラ枯れ現象が目立ってきました。

(R2.7.1～9.30)

月／日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
7/1	水	曇	山荘広場・植樹場所草刈り	3
4	土	小雨	バンガロー周辺草刈り	2
8	水	雨	作業道具手入れ	4
15	水	曇	栗園跡地草刈り	3
18	土	曇	〃	4
22	水	曇	ドラム缶窯炭焼作業、山荘広場草刈り	6
25	土	曇	〃	3
29	水	曇	炭焼小屋の屋根等の補修	5
8/1	土	晴	山荘溜池廻り草刈り	4
5	水	晴	山荘広場・周辺草刈り	4
12	水	晴	山荘工房前、周辺草刈り	4
19	土	晴	〃	4
26	水	晴	ナラ枯木調査と除伐作業	4
9/2	水	曇	山荘北側の山道草刈り	4
5	土	曇	山荘広場、山道草刈り	5
9	水	晴	管理道路草刈り	5
16	水	晴	栗園跡地草刈り	3
19	土	曇	山荘広場、法面等の草刈り	6
23	水	小雨	大型草刈り機の補修作業	3
30	水	晴	山荘周辺草刈り、枝切等	6
計				82

2 定例整備以外の活動

- (1) 8/26～9/4の10日間、国際ワークキャンプの参加者に対して森林整備の指導を行いました。
- (2) 山荘フィールド内のナラ枯木の調査と、その中の一部についてプロが伐採した物の伐木処理を行いました。

3 海岸林整備作業

海岸林整備活動は次のとおりです。

(R2.7.1～9.30)

月／日	曜日	作業の内容	会員・未来基地	ボランティア	計
7/12	日	下刈り、植樹	6	0	6
13	月	〃	5	0	5
18	土	〃	6	0	6
8/2	日	草刈り	5	0	5
10	月	〃	7	0	7
23	日	〃	5	0	5
9/7	月	〃	5	0	5
8	火	〃	5	0	5
21	月	〃	6	0	6
		計	50	0	50

(松崎記)

【農作業班の活動報告】

今年の6月から7月の梅雨時期は長雨と日照不足が続き、8月に梅雨明けしたら逆に雨不足で日照り続きという異常気象のために畑の作物には少なからず影響が出ました。

1. 夏野菜の収穫

長雨のため、じゃが芋の収穫が遅れて7月20日ようやく収穫作業。しかし、大半の芋は腐敗していて、不作に終わりました。また、トウモロコシには根腐れが出て、収穫ができませんでした。その一方で、枝豆やスイカ、カボチャなどは生育順調で期待通りの収穫ができました。

2. 国際ワークキャンプの学生ボランティア来場し、農作業体験

8月31日に日本人学生5名(男子3人、女子2人)が来場し共同で農作業を行いました。畑の除草作業を始め、野菜(あぶら菜)の種まきなどを行いました。(画像4枚)

最後はハウストマトの収穫をして農作業体験を終了しました。

3. その他

- 1) 長雨のため雑草の成長が早く、刈払い機による農道などの草刈をほぼ毎週行いました。
(7/11、13、20、25、27、8/8、22、24、9/21)
- 2) 8月の日照り続きの中、山荘の池の水800Lを畑までタンクで運搬しました。
- 3) 秋の種まき作業: 9/7,28にダイコン、9/12の大蕪、9/14にタマネギなど。
- 4) 刈払い機1台が故障したので、修理に出し(7/29)8/3に完了しました。



草がぼうぼうの畑を除草中



除草作業がほぼ終了



耕運機初挑戦でニコニコ顔



最後に、あぶら菜の種まき

【プログラム班の活動報告】

1 学校の支援活動

今期は7月に1回、9月に4回合わせて5回の支援を行いました。
その一覧は、別表のとおりです。

学校等における学習支援活動(7/1～9/30)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	7月22日(水)	藤原小	3	総合学習	22	6
2	9月3日(木)	平六小	3	総合学習	33	12
3	9月8日(火)	錦東小	3	総合学習	27	6
4	9月23日(水)	江名小	3・4	総合学習	31	9
5	9月30日(水)	藤原小	3	総合学習	22	9
	計				135	42

その活動のようすは、次の写真のとおりです。



2 その他の支援活動

ウイングママの会 健康教室支援 9月21日(月) 参加者 親子16名



3 自主研修

あぶくまNSネット視察 7月13日(月) 参加者 5名



(佐藤 烈記)

【ろうきん森の学校の報告】

1 令和2年7月19日（日）（天候・晴）

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

(2) 参加者数 43名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「自分の宝物を探してみよう」とのテーマで実施しました。大人班は通常の観察を親子班はネイチャーゲームを組み込んで実施しました。

自然体験活動では水車周辺のササ刈りを行いました。

木工工作では、竹とんぼとけん玉を作って遊びました。

今回の昼食はカレーライスとキノコ汁でした。

2 令和2年8月16日（日）（天候・曇・晴）

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

(2) 参加者数 47名

(4) 実施結果

今回の自然観察会は「セミの抜け殻を集めよう」とのテーマで、一班は夏の山荘周辺を歩き、もう1班は勉強会の後、親子中心にセミの抜け殻を探しながら観察会を行い、その後集めた抜け殻を分類しました。

自然体験活動ではススキの葉でバッタを作りました。

木工クラフトでは、水鉄砲を作り、風船を的にして遊びました。

昼食はちらし寿司とみそ汁でした。

3 令和2年9月15日（日）（天候・曇）

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

(2) 参加者数 43名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「虫むし大作戦」というテーマです。外に出る前に室内で予備知識を学んだあと、虫取り網を持ち、外に出て虫を捕まえ、皆で観察しました。

自然体験活動では松ぼっくり等を焼き、花炭を作りました。

木工クラフトでは、紙鉄砲を作りました。

料理体験では、石窯でパン作りをしました。



(佐藤 烈記)

【木工班の活動報告】

今期は、新たに男性班に2名、女性班に1名が加わりました。作った物は、男性班がウッドチェーン、バランストンボそれに楊枝入れ、女性班が木製プランターとメモ用紙立てそれにキッチンペーパー立てを作りました。

また、以前購入したろくろを道具部屋の脇に出し、専用の作業部屋を作りました。



(佐藤 記)

【国際ワークキャンプ】

国際ワークキャンプを8月26日～9月4日までの10日間、6名の参加で実施しました。

今回はコロナの関係で全員が日本人となりました。

活動は、山荘北側の裏山の竹の除伐をメインに行いました。ここは子どもの遊び場として活用を予定している場所です。その活動の詳細と様子は次のとおりです。

月 日	天候	午 前	午 後	夜	参 加 者		
					ワークキャン プメンバー	地元メ ンバー	計
8月26日	晴		4時集合	ミーティング	7	1	8
8月27日	晴	山荘裏山の竹除伐	山荘裏山の竹除伐		7	2	9
8月28日	晴	同上	同上		6	3	9
8月29日	晴	山荘裏山の竹除伐 除伐竹のチップー 処理	同左		5	4	9
8月30日	晴	休 日 自由行動	同左		5	2	7
8月31日	曇	農作業体験	スギ苗作業		5	12	17
9月1日	曇	子供の遊び場除草	キノコホダ木整理 薪割り作業		6	2	8
9月2日	曇雨	子供の遊び場除草 防草シート敷	自然観察会		6	7	13
9月3日	曇雨	水車廻りの除草	木工工作体験	地元メンバーとの交流会	6	4	10
9月4日	晴	全体の振り返り 清掃			6	1	7



(松崎記)

【好間稲刈り】

10月4日(日)に実施した稲刈りは、多くの会員の都合がつかず参加者は5名となってしまいました。今年、天候不順で田んぼが乾かず、田植えのような状況での稲刈りになりましたが、収穫量は昨年を大きく上回りました。脱穀を10月18日前行い、ろうきん森の学校で新米を食べてもらおうと思ってい

ましたが、その後の天候不順により脱穀がまだなので、新米は次回の11月15日まで待ってください。



(木田記)

【新会員の紹介】

昨年の会報29号以降に入会された方々を入会順にご紹介します。

小松信さん、圓谷公一さん、古川浩子さん、合同会社ストローハット（代表蓮沼周平さん）さん、阿久津政光さん、菊池正則さん、中野尊文さん、中野ひさ子さん、鈴木みなみさん、折原好一さん、中野憲二さん、折笠つや子さんそして下條真輝さんと下條由美子さんの1団体、13人です。

圓谷さんはこれまで山荘の畳替えや襖の張り替え等いろいろな修理修繕をしていただいています。現在はツリーハウスづくりの中心になっていただいています。織原さんと中野さんそれに折笠さんは木工班とプログラム班で活躍中です。

【誰が決めたかホーホケキョ】

佐藤 烈

4年前、長く病床にあった父が他界し、遺体を霊柩車に乗せ自宅を出発する時、家の近くの学校の林でウグイスがのどかにホーホケキョと鳴いていた記憶が鮮明に残っています。

その後そのウグイスは同じ所に住み続け、毎年、桜のつぼみが動き出す頃からホーホケキョと鳴いています。

鳴き声に特徴があるので同じ個体と分かります。私はこのウグイスに「ホケキョ」と名付けました。

親近感を覚えると面白いもので、家を出るときにこの声が聞こえないとなんだか物足りないような気がしてきます。

この声が一年中聞ければいいのですが、それは叶いません。8月中旬には聞けなくなります。

ある時こんなことに気がつきました。ホーホケキョはさえずりだから繁殖期に鳴く声と、ものの本に書いてあります。そうすると繁殖期は春から夏にかけてとなります。そしてホケキョは雄であることがわかり、更にいつまでも鳴いているということは相手が見つからないのかと心配にもなります。それとも相手が見つかってまた次の相手を求めているのか。また相手が見つかって無事卵を産むための巣は、雄のテリトリーの中なのか、子育てはどちらがするのか等わからないことが次々に出てきます。

ただ分かったこともあります。鳴き声に注目すると実はホーホケキョと教科書どおりの鳴き声はあまり聞けません。それでおおよそのテリトリーがわかります。考古資料館の近くの藤原川沿いの藪をすみかとしているウグイスはホーホギョギョギョです。いわきFCの近くではホーケキョです。一体だれがホーホケキョと字をあてたか、子供がこの声を聞いてもウグイスとわからないかも。

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2

湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.Jimdo.com/>